

影繪の如く

帝キネ小坂映畫

原作 上島量氏
脚色 面影徳氏
監督 吉田俊作氏
撮影 後藤秋登氏

主要役制
浮世繪師芳齋 尾上紋十郎氏
目明し河内屋千吉 小島陽三郎氏
腰助女房お浦 千草香子嬢
眞田三郎 中村太郎氏
芳齋妹翠江 小坂恒男氏
流谷越中 片桐十郎氏
目明し松藏 嵐寛十郎氏
北町奉行牧田伊勢守 市川十七三氏
南町奉行堀越能登守 實川三郎氏
井伊大老 林誠太郎氏
幻腰助 澤井三郎氏
藝者春駒 二見日出子嬢
藝者三勝 泉清子嬢
妹三勝 橘千鶴子嬢
芳齋の影の手お春 久野あかね嬢
同 お久 英三四技嬢
同 お夏 英三四技嬢

解説—孔雀の光第三篇について後藤秋登氏が監督製作した時代劇である。



略筋—開港場異兩派の軋轢漸く烈しく國內の騷擾將に鼎の沸くが如き万延元年の初春、由井正雪以上の一大陰謀事件が突如捲き起つて天下を震撼させた。浮世繪師芳齋は時の大老井伊直弼の命を受けて諸國の大名の動勢を探る爲に日夜心を砕いてゐた。或夜井伊邸に曲者忍び入り化学書と油繪を奪ひ去つた。芳齋は目明し河内屋千吉と共に此曲者逮捕せんさ苦心してゐた。或日突如二人は數十名の覆面の武士に襲れた。曲者は誰か、芳齋と千吉の運命如何に(前篇)

水戸浪士に襲はれた芳齋と千吉は堀越能登守の一行に救はれた。浪士眞田三郎は芳齋の國家を思ふ至誠に感激し味方になつた。水戸浪士は最後の手段として大老歸關の途上を襲つた。鶯谷の料亭に春駒は越中から密書を奪つた。越中の命により幻腰助は芳齋の宅に爆彈を装置した。果して爆彈の威力によつて芳齋を倒し得たりや智者たる彼の謀計や如何に(中篇)

流谷越中守の計劃も其効なく腰助と千吉に押へられた。越中はそれを知つて北町奉行へ芳齋召捕を願ひ出した。かくて直ちに南町奉行へ訴へ奉行越中は千吉とお浦と共に大老邸に出現して取調への結果賊は藤助と判り芳齋は許された。千吉は流谷邸に乘込み遂に越中召捕つた。かくてさしも世を騒がした大陰謀者も芳齋千吉の手に取押へられ太平の世は永久に續いた。